

ステップアップ

第21号



<http://www.shimobyou.jp/> 下関病院は日本医療機能評価機構認定病院です。



学術講演会を開催しました

下関精神科学術講演会 (2011年8月27日 海峡メッセ下関)

座長：財団医療法人水の木会 下関病院 理事長 水木 泰

講演1：「最近の抗精神病薬の動向について」
中外製薬(株) 新規領域グループ 顧問 森本 保人先生

講演2：「抗精神病作用を有する漢方製剤について」
福岡大学 薬学部 臨床疾患薬理学 教授/副学長 藤原 道弘先生

8月27日に下関精神科学術講演会が開催されました。本学術講演会は、精神科領域における「西洋医学」と「東洋医学」の各医薬品の動向に焦点を当てて構成されたもので、大変興味深いものでありました。

講演1では、西洋医学の分野から、森本保人先生が、今までの抗精神病薬の開発経緯及び現在開発中の医薬品について講演され、その講演内で、統合失調症の発現要因には70種類以上の脳内物質が関わっていることが現在分かっており、中でもグルタミン酸に関連する薬剤の開発が進んでいることを報告されました。

講演2では、東洋医学の分野から、藤原道弘先生が漢方薬である大黃の抗精神病作用及び認知症の周辺症状(異常行動/徘徊、幻覚、興奮性/攻撃性、焦燥感、睡眠障害)に対する抑肝散の有効性について報告され、さらに2つの漢方製剤の働きを科学的な切り口(各種疾患動物モデル実験および臨床試験)で研究し、抑肝散の周辺症状に対する働きには、セロトニン神経系が深く関与していることを報告されました。

今回の講演は、東西の医学が融合し始めていることを垣間見るものであり、大変有意義なものであり、今後、様々な精神科領域における新規医薬品が市販されてくるものと考えられ、その使い分けが治療上重要になっていくと考えられます。下関病院の薬剤部では、新薬の開発動向に関して適正かつ有益な医薬品情報の収集および提供に努め、「患者さまおよび御家族により良い医薬品情報提供を行っていきたい」と考えています。

薬剤部 戌亥 敬一郎



第39回日本精神科病院協会精神医学会のご報告



7月14,15日、北海道札幌市で開催された第39回日本精神科病院協会精神医学会に、水木理事長と萩病院の武田心理士と共に参加してきました。移動中に北海道の大地を眺めたり、札幌駅・時計台を近くで見ることができ観光も行えました。

発表は、『地域生活を目指したグループ活動～地域生活に必要な技能の獲得や動機づけが有効であった活動～』の演題で行いました。公共交通機関を利用して買物に行ったり、調理訓練やATMの入出金の練習、またゴミの分別を実際に行った活動を報告しました。他の発表には、社会復帰や退院支援をテーマにしている演題も多く、また、スタッフの意識の変化や看護者の認識について取りあげているところも

ありました。入院中に早期から地域でのリハビリテーションの展開が重要であり、退院が最終目的ではなく、地域で一人でも多くの患者さんが、安心して自分らしく生きることができるような関わりを持たなければなりません。日中の余暇の過ごし方をどのようにするかも再燃予防には非常に重要であり、ご本人と共に考え、取り組む必要があると感じました。

シンポジウムでは、最近の精神科の動向・課題が取り上げられ、意見交換も活発に行われました。厚労省は4疾病5事業の医療計画に精神疾患を追加し5疾病にすること、入院治療中心から地域生活中心へと政策転換が行われる中で、統合失調症の入院患者さんは減少している一方、入院が長期化している患者さんの高齢化の問題、うつなどの気分障害や認知症の患者さんは増加傾向であることなどが取り上げられていました。これらに真摯に取り組むことが、地域に貢献するためには重要であり、特に認知症はご家族や介護施設が困っていらっしゃるケースが多く、精神科病院こそが力を発揮すべきだ、と力説されるシンポジストもおられました。私たちも、政策や世の中の動きを敏感にキャッチし、地域の方々の声に耳を傾け、貢献していけるように常日頃から意識を高めておかなければならないと感じました。



最終日の夜は、札幌ドームで日本ハム対西武戦を観戦しました。レベルの高い選手一人ひとりが、チームの勝利のために力を合わせて戦う様子を見ながら、私たちも自己研鑽し強いチーム・組織を作っていかなければ、との思いを新たにしました。試合前には、色々なアトラクションが催され、ファン獲得のための経営努力がなされているのを実感しました。観戦後、それぞれがお気に入りの選手Tシャツを買ってしまいました。店員さんによると、一番人気は中田翔、次がダルビッシュとのことでした。



作業療法士：伊藤明夫、永井利佳

起工式を行いました。

8月22日に地域診療棟（仮称）、29日に地域密着型老人福祉施設「富任荘」の起工式がそれぞれ執り行われ、厳かな空気の中、関係者一同で工事の安全を祈願いたしました。

現在すでに工事が始まっており、地域の皆さまには色々ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、今後、着々と建立されていく様子は広報誌上でもご紹介していきますので、どうぞご期待下さいませ。



グループホーム調理指導について

障害者グループホーム 楠荘・桜荘・松風荘・椿荘 では、自立訓練の一つとして今年5月から調理指導を行っています。

管理栄養士が作成した献立を基に、利用者が2人1組となって1週間交代で夕食の材料買出しと調理をします。その際、グループホーム世話人・訪問看護スタッフ・精神保健福祉士が付き添い、指導にあたっています。



一週間の献立例



楠荘・松風荘では 15 名中 12 名が調理指導に参加されています。栄養士さんの献立を基に皆さんの希望を聞いて夕食を決めております。皆さん完食され満足しています。私も楽しく準備をしています。

(楠荘・松風荘 世話人 松田 和子)



最初は戸惑いもありましたが、今では皆さん楽しみながら夕食作りを行っています。中には料理に自信が付き、協同自炊から一人自炊に変わる人もおられます。

(桜荘・椿荘 世話人 松永 フク江)



月
ご飯
肉と生揚げの味噌炒め
海藻サラダ
トマトスープ



火
ご飯
魚のムニエルあんかけ
切り干し煮
とろろ芋



水
ご飯
牛肉ソテー焼肉味
レモン醤油あえ
冷奴



木
ご飯
焼きししゃも
けんちん煮
竹輪のサラダ

当初は包丁を持った経験のなかった方も、今では乱切りができる程度になりました。当番でないときも食器の準備をしたり、ほかの利用者の調理を見て手順を覚えたり、洗い物を手伝ったりと、みんなで楽しく作っています。

(精神保健福祉士 金田 津音紀)



金
ご飯
鶏のクリームソースかけ
炒りたまご
ところてん



8月19日(金)下関病院グラウンドにて夏祭りが行われました。

準備は日差しが強くバテ気味でしたが、午後からは怪しい雲行きとなり、刻々と変わる天気予報とにらめっこしながらヒヤヒヤし通してました。しかし、皆の願いが通じ、どうにか雨も降る事なく涼しい気候の中、無事開催する事ができました。

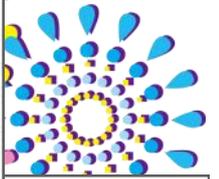
ステージ発表では、託児所の子も達によるお遊戯、外来患者様による歌唱、女性病棟の患者様によるダンスが披露されました。みんなが一つになり、楽しい一時となりました。

徐々に日が暮れ、沢山の提灯が灯り始めた頃、下関馬関連平家踊保存会の方の三味線の音色や力強い太鼓に合わせて、下関伝統の平家踊りを舞い、盆踊り気分を満喫する事ができました。例年以上に地域の方々の参加が多く、おかげさまで盛大に祭りを終える事ができました。

毎年下関病院夏祭りにご協力して下さる下関馬関連平家踊保存会の皆様、心よりお礼申し上げます。

また今回ご協賛いただきました、株式会社ハウスクター山口様、株式会社タカラ様、有限会社ライフクリーニング様、株式会社大林組様、栄食メディックス株式会社様、株式会社岩多屋様、西日本医療サービス株式会社様、有限会社華企画様

物品を貸していただきました、安岡小学校様、コカ・コーラウエスト株式会社様 改めて御礼申し上げます。



男子回復期病棟 院外活動

うっとりしい梅雨の季節である6月の半ば、地域の社会体験を目的に、男子回復期病棟の患者さん8名とスタッフ5名で土井ヶ浜にある弥生パークに行ってきました。弥生人たちの暮らしや遺跡をみる事ができ、歴史の奥深さを知りました。帰りには、角島大橋を通り、素晴らしい景色を眺めながらの院外活動となりました。今後も患者さんにとって、意味のある院外活動を提供していけたらと思っております。



連載 スタッフでつなげる、趣味のはなし。

つなげよう! スタッフのわ



今回は、【伊藤 明夫 作業療法士】です。(^-)^ノ

もっぱら休みは子ども中心で動いていますが、どうしても譲れないのが高校野球観戦です。下関球場は下関病院から徒歩20分。バックネット裏の前列に座ると、いい投手なら球がシュルシュルというのが聞こえます。試合での流れでは、集団の精神力動が観察できます。夏の大会は、各校の応援団もいて盛り上がります。球児の中には職員のご子息も少なからずいて、私も入れ込んでしまいますねえ。敗れたチームは泣いてます。めちゃくちゃ練習してたんだろうなあと思うと、感動しますよ。願いは、将来のプロ野球選手を「高校の頃から、違っていたねえ」と言ってみる事です。



次回は、石田Dr.です。おたのしみに!



今号は研修会や学会等、知識の取得に関する記事を中心にお届けしました。料理の記事もありましたが、暑い夏も終わりに近づき、食欲も出てくる季節になりましたね。美味しい肉をたくさん食べて、季節の変わり目を乗り切りましょう。(広報委員 米田)